

2023(令和5)年度第2回伊賀市地域公共交通活性化再生協議会 議事録

■開催日時 2023(令和5)年11月17日(金)
午後1時30分～午後3時25分

■開催場所 伊賀市役所 4階 庁議室

■出席者 (敬称略)

【委員】

辻本 勝久(和歌山大学)、大森 秀俊(伊賀市副市長)、
兒嶋 一裕(西日本旅客鉄道株)、松永 昌幸(近畿日本鉄道株)、
増田 政俊(伊賀鉄道株)、平岡 祐一(三重交通株)、
前田 敦志(三重県タクシー協会)、尾上 義文(三重交通労働組合)、
勝山 祐樹(中部運輸局交通政策部交通企画課 代理 宇佐美 有紗)、
鈴木 博行(中部運輸局三重運輸支局 代理 杉原 慎也)、
岩越 政智(伊賀警察署交通課 代理 奥山 万里奈)
田畑 賢一(名張警察署交通課)、
藤田 雄一(三重県地域連携・交通部交通政策課 代理 松島 昇平)、
浅田 昌博(三重県伊賀建設事務所 代理 松永 全)、
木宮 康介(市民公募)、堀田 大(いが移動送迎連絡会)
松永 亨二(島ヶ原地域まちづくり協議会)、
風隼 徳彰(伊賀市企画振興部長)

【オブザーバー】

清水 貴博(中部運輸局鉄道部計画課)

【事務局】

企画振興部 佃次長
交通政策課 井上課長、坂森主幹、中川

■傍聴人：3人

■会議概要

1. 開会

交通政策課 井上課長

会長あいさつ

皆さん、こんにちは。本日は、お忙しいなかお集まりいただきありがとうございます。ございます。

今日は、こちらに来る前に、JR関西本線の新堂駅で降り、出来たばかりの駅前の複合施設「SHINDOYARDS」を見てきました。その後、廃止代替バスの柘植線、「にんまる」と乗り継いでこちらにやって来ました。

「SHINDOYARDS」には図書館が併設されていまして、この図書館は非常に素晴らしく、居心地が良かったです。内外装のデザインもシックで素晴らしく、各地の図書館、特に他の駅前の図書館で、あれほどの水準の図書館は、なかなかお目にかかれなると感じました。

10月2日から12月31日まで公共交通機関の利用促進期間にもなっていますし、気候も爽やかで良い季節ですので、是非、公共交通機関で、新堂やその他市内各所へ訪れていただきたいと思います。今日は、せっかくの機会ですので、積極的な議論への参加をお願いします。

・委員、事務局 自己紹介

2. 協議事項

(1) 山添村村民バスの運行について

奈良県山添村総務課 浦久保課長補佐から資料1に基づき説明。

【質疑応答】

委員	29人乗りのマイクロバスは、車椅子の乗降についてどの様になっているのか。
委員 (三重交通)	大丈夫です。対応できる様になっております。
委員	2点質問がある。まず、この時刻表は、たたき台、案という様なものか。というのは、複数の停留所で同時刻になっているところがある。例えば、最初の1便、「山添村役場」と「大西」の停留所は、両方、時刻が7時00分となっており、その後も、同じ時刻の7時01分が3つ並んでいるという状況になっている。停留所間の距離感は分からないが、この時刻はどれほど煮詰めたものなのか。 2点目は、走行ルートに関して、三重交通の営業路線や、伊賀市のコミュニティバスや廃止代替バス、何か別のバスが現状走っており、安全性は既に確認されている状況なのか。
山添村総務課	まずは、走行ルートですが、「予野保育園前」から「治田西口」間については、伊賀市の廃止代替バス（諏訪・予野線）

	<p>が運行しています。「山添村役場」から「治田東口」までは、三重交通の上野山添線が同じルートを運行しています。時刻表につきましては、確定ではなく案という状況です。複数の停留所が同時刻になっていることにつきましては、これらの停留所間はとても近い距離で、近ければ100mという様なところもあり。バスの利用者の状況もありますが、例えば、停留所毎に1分ずつ足していくと十箇所目で10分ですが、実際の運行時間は5分になります。運用的にこの様な形にさせていただき、利用者の方に待っていただく時間を少なくしたいと考えています。そして、こうすることによってバスの運行時間が短縮でき、無駄にならないということになりますので、この様なダイヤ案を考えています。</p>
会長	<p>安全性の件について、今回、提案のルートは、すべて既存の停留所を利用し、新設する停留所は無く、改めて安全性の確認をする所も無いということか。</p>
山添村総務課	<p>はい、そうです。</p>

【承認】

(2) 美旗地域コミュニティバス「はたっこ号」の予備車両変更登録について事務局から資料2に基づき説明。

【質疑応答】

委員	<p>変更車両と現行車両とどう違うのか。</p>
事務局	<p>資料2の2ページに掲載させていただいております。資料の左が、現行車両で、初年度登録が平成10年、40人乗りのバスを老朽化のため廃車いたしまして、新たに、変更車両としてトヨタの車両に変更させていただくということです。予備車ですので、通常は待機している形です。</p> <p>補足ですが、こちらのバスについては、伊賀市が運行するバスではなく、名張市が運行するバスです。伊賀市の「きじが台」を走っており、伊賀市民も活用させて頂いているバスです。今回、伊賀市内のルートを走っているため、当協議会でお諮りさせていただいているということです。</p>
委員	<p>名張市の協議の状況はどの様になっているのか。</p>
事務局	<p>今月中に、名張市地域公共交通会議において書面で、承認を諮ると伺っております。</p>

【承認】

(3) 比自岐コスモス号に係る運行計画の変更について
事務局から資料3に基づき説明。

【質疑応答】

会長	停留所付近の道が狭く、利用者が無いということ、そして、近くに「農構センター前」という停留所があるため、「向山橋前」バス停を廃止したいということですね。「向山橋前」から「農構センター前」までの距離はどのくらいありますか。
事務局	100mくらいだと思います。
会長	至近距離に「農構センター前」という停留所があるということですね。
事務局	はい。200mも無いと思います。

【承認】

(4) 大山田行政サービス巡回車に係る運行計画の変更について
事務局から資料4に基づき説明。

【質疑応答】なし

【承認】

(5) 伊賀市地域公共交通計画の進捗状況の確認について
事務局から資料5に基づき説明。

【質疑応答】

会長	目標⑦の「地域公共交通を利用したおでかけの増加」、目標⑧の「地域公共交通に対する市民の参画度の向上」の進捗状況が計画策定時よりも大きく下回っているという状況が受け取れる。計画年も、中間年となっている。これから後半戦が始まる、そのためどこに重点を置くかということ、やはり進捗状況が芳しくない⑦と⑧で、⑦の公共交通を利用してのお出かけを増やす。⑧の地域公共交通施策の参画度の向上を追いかける方向での取り組みが求められていると思う。
----	---

事務局	アンケート結果でもありますように、利用されている方には、それなりの満足度はあります。しかし、全体的に広くご意見をいただくと満足度は低い。というのは、公共交通を知らない方がたくさんいると思います。ついては、まずは一度乗っていただく、利用を体験していただく施策をもっと押し出して行き、乗っていただいたからこそ見えるものを一度感じていただく事が大切と思っています。
委員 (中部運輸局)	進捗状況について、他の市町にも行かせていただくが、11分野にわたって纏められており、しっかり取り組みがされていると思った。そして、この様に進捗結果をお伝えしていく事が更なる利用促進に繋がると思う。 お出掛け回数のところが、まだ戻りが遅いのは、昨年、伊賀市と中部運輸局で調査した結果でも分かっていたことでもあるが、都市部より地方でのお出掛け回数の戻りが遅いというのは、全体的な傾向でも表れている。やはりまずは、使っていただくという事が重要。コロナを経て使い方も変わってきていると感じている。

【承認】

3. 報告事項

(1) 地域間幹線系統バス路線について

三重交通株式会社から説明。

【説明内容】

この10月1日に弊社の営業路線のダイヤ改正を行いました。その概要について報告させていただきます。

まず、上野市駅と阿山支所を結ぶ玉滝線につきましては、平日において、阿山支所前発を2便減便させていただきました。上野市駅発は、便数はそのまま時刻の変更のみを行っています。土日祝については、全便運休とさせていただきます。

続きまして、上野市駅と汁付を結ぶ阿波線につきましては、平日、土日祝とも1日4便、2往復の減便と時刻の変更をさせていただきました。また、上野山添線につきましては、土日祝全便の運休をさせていただきました。上野名張線につきましては、土日祝の上野市駅発名張行き1便に、岡波総合病院への乗り入れを追加しております。

これら改正を実施しました理由としましては、まずは乗車人員の減少です。少子高齢化や人口の減少と、コロナ禍でもなんとか運行を維持してきましたが、新しい生活様式の定着や燃料代の高騰、物価の上昇による経費の増

加、また、現在世間でも問題となっています。運転手不足、人件費の高騰等非常に厳しい状況です。また、来年度の4月からは、運輸業者へも新たな法律、新たな働き方改革が適用されます。運転手の1日の拘束時間の短縮や、始業から終業までの間のインターバル時間の拡大等、運輸業界には非常に厳しい措置です。弊社においても、人手不足、運転手不足は、深刻な問題となっております。現在、ご利用していただいている方、また、ご利用されていた方へは、非常にご不便をおかけする、また、おかけしたという結果は重々承知しており、大変申し訳なく思っていますが、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

また、山添村コミュニティバスの運行につきましては、現在、弊社が運行している上野山添線をご利用されている大半の方が、山添村のコミュニティバスへ移行されると考えられ、このコミュニティバスの運行に合わせて、上野山添線を廃止の方向で検討しております。現在は、利用者及び乗降の調査を慎重に行っているところです。

【質疑応答】

委員 (三重県)	運転手不足と話されていたが、玉滝線、阿波線、上野山添瀬線、上野名張線を、それぞれ平日を運行するにあたって、何名の運転手が必要なのか。今、把握されているようなら教えていただきたい。
委員 (三重交通)	今は、わかりません。
委員	口頭での説明であったが、できれば報告事項等を書面で報告していただいた方が、皆さんも理解しやすいと思う。
委員 (三重交通)	次回から書面にします。
事務局	山添村のバスの運行に合わせて廃止をしようと考えている上野山添線に関しましては、乗降者の大半が山添村のバスに移行するのではと、容易に予測はしておりますが、通らないバス停もあり、重複しないバス停もありますので、そのバス停の乗降の調査や、その方々への周知期間について十分配慮していただき、山添村のバスがスタートする日を廃止の目途にするのではなく、乗降調査の分析が終わる期間などを目途にして進めていただきたい。目標とする日にちの設定は、目的に合わせた日を、ご検討いただきたい。我々市の、そして使っている市民の方々の意向として、お汲み取りいただきたいと思っております。

委員 (三重交通)	現在、「国道大内」、「国道七本木」、「国道白檜」この3つのバス停については、乗降調査を毎日実施しております。年齢層等も調べて十分に準備させていただくつもりです。
--------------	--

(2) 今年度の取り組み状況について
事務局から資料7に基づき説明。

【質疑応答】

委員	トイレの改修の件であるが、上野市駅も茅町駅も改札の中にトイレがあり、あくまでも鉄道事業者の為のトイレだとは思いますが、現在もしくは改修後でも、公共トイレ的な活用が出来るのか。
委員 (伊賀鉄道)	実際は、駅員に声掛けをしていただき、ご利用していただいておりますが、通常はご利用いただけない事になります。
委員	特に駅前でイベントがある時は、その様な事が多くあると思うが、イベント時も同じ考えという事でいいか。
事務局	茅町駅は、バリアフリーで利用者の導線を考えた時、多目的トイレだけは、駅構内から入る通路の確保が出来ないため、外からのご利用も考えたトイレにする予定です。そういう意味では、利用していただけると思います。
委員 (伊賀鉄道)	上野市駅も天神祭の時に、祭のチラシの「トイレの場所」という中に、上野市駅構内のトイレの記入があった。そのため、公共的なトイレという考え方ではあると思います。本来は、入場券を購入していただき、駅構内に入っていたくということになります。
委員 (JR西日本)	質問ではなく、お礼と状況報告をさせていただきます。伊賀上野駅にピアノを設置していただき、有難うございます。伊賀上野駅が、市民の方々の憩いの場になるという事を非常に有難く思っております。もちろんルール等ではありますが、伊賀上野駅を、皆さんが少しでも集まっていただき、ご利用していただける形にしていきたいと思っております。合わせて、利用促進という面で、微力ながらお手伝いさせていただいている「西ナビ」については、こちらでの認知は低いですが、関西圏のJRの駅に30万部~40万部を配布しております。昨今では、SNSで日常茶飯事に色々取り上げられておりますが、紙の媒体でお知らせすることも周知的には非常に大きなもので、かつ、タブロイド的に色々な情報が入っており、色々な方に手に取っていただき、見ていただけるという事で

	<p>す。12月号は、11月下旬には、各駅に配布され、設置されま す。JR関西本線の「加茂」から「亀山」の各駅のスポット を、タブロイド紙、一枚物でご説明させていただいておりま す。この様な事を地道に続けて行きながら、利用促進をして いきたいと思っておりますので、色々のご協力をよろしくお 願いたします。</p>
<p>委員 (伊賀鉄道)</p>	<p>上野市駅のトイレの改修につきましては、改修が完了するま での間、簡易式の便座を置いています。和式タイプのトイレ でありましたが、介護用の便座、ホームセンターでも売って いるようなものを付けることで、少しずつ増えているインバ ウンドの方々にもご利用していただけたと考えています。 そして、公共交通の利用促進で、10月から12月の3か月間の 間、4日と19日を四十九の日と設定し、この日に片道無料と なるチケットを配布するという取り組みを現在行っております。 現状の経過報告ですが、10月4日と19日、11月4日の3 回が経過していますが、10月4日の利用枚数が4枚、19日が 2枚、11月4日は2枚という状況です。なかなか周知が進ん でいないという事実もありますが、特に、四十九のイオン で、ポスターやチラシで公共交通の啓発活動をしている時で も、やはり買い物にいられている方は、ほぼ車でいられてい ます。たとえ片道が無料であったとしても、わざわざ電車 を利用する方はあまりいないというのが実感です。特に、電車 で来るという行為に変更する、日常生活を変えるという事 であれば、駅から自分の家まで、一番これが大事な距離感、判 断基準になるのではないかと思います。駅勢圏人口が多くな い所で、この様なちょっとしたお得なことがあったとして も、なかなか変更しにくいということがあると思います。も う少しバスや自転車の二次交通との接続を取れる様な利用プ ランを具体的に考え、利用される方々にご提案する様な事も 検討する必要があると感じております。</p>

(3) 島ヶ原デマンドバス導入報告について

事務局及び島ヶ原地域まちづくり協議会の松永会長から資料7-1、2に基づき説明。

【質疑応答】なし

4. その他

- ・旅客運送2024年問題への対応について

中部運輸局三重運輸支局から「**当日配布資料（旅客運送2024年問題への対応）**」に基づき説明。

【質疑応答】なし

- ・「沿線で謎解くアプリの登場！」チラシについて

事務局から「**当日配布資料（「沿線で謎解くアプリの登場！」チラシ）**」に基づき説明。

【質疑応答】なし

- ・SHINDOYARDS図書館ガイドについて

事務局から「**当日配布資料（SHINDOYARDS図書館ガイド）**」に基づき説明。

【質疑応答】なし

- ・その他

委員 (三重県)	三重交通への依頼です。上野山添線の廃止を検討されている件で、上野山添線は、地域間幹線系統で、複数の市町村にまたがって運行している路線です。廃止する場合には、三重県の協議会の議決が必要です。上野山添線は、三重県に加えて、奈良県の議決が同じように必要ということを、承知していただきたい。そして、先ほど、事務局からも説明されたように廃止になった場合の影響をしっかりと協議していただいたうえで、県の協議会に諮っていただきたい。県の協議会は、あくまでも広域の交通のネットワークを議論する場であり、この路線が廃止になれば、影響があるのか無いのかについて、伊賀市や山添村を差し置いての議論は意味のないことであるため、そういった所はしっかりとお話をしたうえで、県の協議会に諮っていただきたい。
-------------	--

(終了)